

2021 年 12 月 6 日

地域最大規模*の太陽光発電設備に着工

1メガワットを超える大規模自家発電施設を導入
脱炭素社会実現に向け温室効果ガス削減を目指す

NIKKEN MEGA SOLAR

日研工作所メガソーラープロジェクト始動



完成イメージ図

株式会社日研工作所（本社：大阪府大東市／代表取締役社長 長濱明治、以下「当社」）は、脱炭素社会の実現に向けて温室効果ガス削減の取り組みを推進するため、関西電力株式会社（本社：大阪府大阪市／取締役代表執行役社長：森本 孝、以下「関西電力」）との共同事業として、本社工場（大阪府大東市／敷地面積：55,000 平方メートル）に、太陽光パネル容量 1メガワットを超える、大規模な自家消費型太陽光発電設備の導入を決定しましたので、お知らせいたします。

<導入設備概要>

- 太陽光パネル容量 ： 1.920MW （1,920kW）
- 年間自家消費量 ： 1,972MWh （1,972,000kWh）
- 年間CO₂排出量削減効果 ： 約 20%

<背景>

政府は気候変動問題への対応として、2020年10月に「2050年カーボンニュートラル」を宣言しました。また2021年4月には、2030年度の新たな温室効果ガス排出量削減目標として、2013年度比46%削減を掲げています。

当社は今回の自家消費型太陽光発電設備導入により、大幅なCO₂排出量削減効果が期待でき、環境負荷の低減を行うことが可能となります。

■ 着工 : 2021年10月9日

■ 完成(予定) : 2022年1月中旬

当社は発電した電気を自家消費することにより、約20%の年間CO₂排出量削減効果を見込んでおります。なお、同設備は2021年10月9日に着工済、2022年1月中旬の完成を予定しております。

<関西電力との共同事業概要>

同設備は、当社が所有する本社工場敷地内の主要工場2棟の屋根上に、関西電力が太陽光発電設備を設置、所有した上で、設置後の運用・メンテナンスを行うもので、「太陽光発電オンサイトサービス」として全国の事業者提供されているものです。太陽光パネル容量は1.920MW、年間1,972MWhの推定発電量が見込まれ、関西電力が提供する同サービスにおいても全国最大規模の発電設備となります。

<BCP対策：蓄電設備概要>

地球規模での温暖化の影響などもあり、近年では特に大型の自然災害が頻発しています。長期停電も多数発生しており、企業においてもBCP対策は欠かせない事案となっています。

今回の太陽光発電設備には、蓄電池(容量:153.6kWh)を併設し、停電時にも一定の電力供給を行うことが可能となっています。

*地域最大規模

当社本社工場は大東市役所から直線距離で2km以内という市街化区域に位置しており、1.920MWの発電能力は大阪府大東市では最大規模となります。守口市・枚方市・寝屋川市・門真市・四條畷市・交野市などを含めた旧北河内地域でも、大阪府が運営する「大阪府渚水みらいセンター太陽光発電プラント(発電最大電力:1.5MW)」と同等規模となります。

【報道関係者様：お問合せ先】

株式会社日研工作所 営業本部室 東 志行

住 所：大阪府大東市南新田1丁目5-1

電 話：072-869-5810(代)

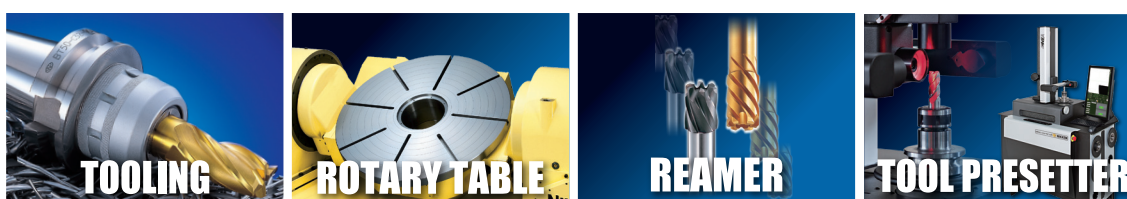
e-Mail：shiko.azuma@nikken-kosakusho.co.jp

H P：https://www.nikken-kosakusho.co.jp

■ 設置中の当該自家発電設備画像



■ 株式会社日研工作所について



日研工作所は、1958年の創業以来、航空機産業、自動車産業から超精密機械工業にいたるあらゆるシーンで活躍している、工作機械用アタッチメント及び切削工具メーカーです。素材加工から超精密仕上加工に至るまで、一貫生産体制を誇り、国内はもとより、海外の工業界にも広く貢献し、その評価は絶大なものと確信しています。ヒューマンウェア溢れる集団として“日々研究を重ねる”姿勢をモットーに、本物のモノ作りに取り組んでいます。

■ 株式会社日研工作所：SDGs への取り組み



地球温暖化問題の真只中であって、持続可能な開発目標を支援し、エネルギー効率が高く、合理的な機械加工ツールを提案・提供していく。それこそが、私たち日研工作所に与えられた使命だと考え、2009年より“Machining Eco”、すなわち「機械加工における省エネの推進」を掲げ、様々なユーザーに生産合理化の提案を続けて参りました。

今日、国連が全世界に向け問題提起した SDGs は、前述の“Machining Eco”に象徴される当社の使命を、あらゆる産業に適用可能な目標に昇華したものと考えております。日研工作所では2020年、企業としての社会的責任を果たすため、「使い捨てないツーリング」のメッセージと共に、ツーリングの長寿命化を図りつつ、使用期間の長期化をもたらすメンテナンスサービス事業「日研ツールクリニック」も立ち上げています。



株式会社日研工作所は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。